

## 植物関連雑誌のタイトル紹介

著者	中田 政司
著者別表示	Nakata, Masashi
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	47
号	2
ページ	166
発行年	1999-12-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00055273">http://hdl.handle.net/2297/00055273</a>

## 植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学文化センターに感謝いたします。掲載を希望される方は、雑誌を編集部までお送り下さい。)

## ○ 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 第21号 1999年3月

(〒080-1403 河東郡上士幌町字糠平 上士幌町ひがし大雪博物館)

丹羽真一：北海道産の樹木4種の花序サイズと結果率の関係(25-30) / 渡辺 修・丹羽真一・渡辺展之・辻本涼子・山岸洋貴：オニクの個体群構造と寄主ミヤマハンノキの分布との関係(31-38) / 渡辺展之・丹羽真一・渡辺 修・辻本涼子・鈴木 有・山田和幸・小葉松弘恵・川辺百樹：大雪山国立公園の音更川上流域におけるクロミサンザシの生育地環境と個体群構造(39-44) / 渡辺 修：北海道産アカネ科植物の検索図譜―葉で見分ける植物図譜―(45-50)

## ○ 青森県立郷土館調査研究年報 第23号 1999年3月

(〒030-0802 青森市本町二丁目8-14 青森県立郷土館)

自然分野：下北丘陵自然調査概要(4)(3-32) / 木村悦子・大田正文：春植物の研究―梵珠山におけるカタクリと他の林床植物について(71-80)

## ○ 秋田県立博物館研究報告 第24号 1999年3月

(〒010-0124 秋田市金足鳩崎字後山52 秋田県立博物館)

高橋禎祐：フナバハグルマゴケの新産地(7-8) / 三春智弘：子吉川河口から石沢川沿いのマメ科植物(15-18)

## ○ 秋田自然史研究 第38号 1999年2月

(〒010-0873 秋田市千秋城下町8-18 秋田自然史研究会)

高橋禎祐・高田 順・畠山正治・熊谷 隆・富樫洋子・菊地卓弥・沖田貞敏：秋田県東成瀬村おわり沼の植物調査報告書(1-4) / 沖田貞敏：秋田県植物分布資料(2)(11-13)

## ○ 栃木県立博物館研究紀要 第16号 1999年3月

(〒320-0865 栃木県宇都宮市陸町2-2 栃木県立博物館)

原田 浩・小沢武雄・福田廣一：栃木県産の地衣類チェックリスト(1-30) / 園部力雄：春の野に咲く花に集まる虫について(61-70) / 樋口利雄・福田廣一：那須沼原湿原の植生(103-119)

## ○ 群馬県立自然史博物館研究報告 第3号 1999年3月

(〒370-2345 富岡市上黒岩1674-1 群馬県立自然史博物館)

大森威宏：群馬県産ガマズミ類の花序あたりの着花数と花期(予報)(51-56) / 大森威宏：ガマズミとミヤマガマズミの展葉過程の比較(57-60) / 須永 智：群馬県における植物標本採取に関わる諸手続きについて(129-133)

## ○ 川崎市青少年科学館紀要 第10号 1999年3月

(〒214-0032 川崎市多摩区柝形7-1-2 川崎市青少年科学館)

吉田多美枝：川崎市城の注目すべき種子植物(35-40)

## ○ 横須賀市博物館研究報告(自然科学) 第46号 1999年3月

(〒238-0016 横須賀市深田台95 横須賀市自然・人文博物館)

大森雄治：日本のドクダミ科・コショウ科・センリョウ科植物(9-21) / 加藤億重：牧野標本間標本館所蔵のシーボルト・コレクション(23-32)

## ○ 長岡市立科学博物館研究報告 第34号 1999年3月

(〒940-0072 長岡市柳原町2-1 長岡市立科学博物館)

特集：信濃川総合調査 高橋千草・西山邦夫：信濃川の帰化植物(9-20)

## ○ 長野県植物研究会誌 第32号 1998年5月

(〒390-8621 松本市旭3-1-1 信州大学旭合同研究棟生物学教室内 長野県植物研究会)

松田行雄：湿原の発達と群落の消長 1. 霧ヶ峰八島ヶ原湿原 36年間の動態 (1-19) / 加藤 順・林 一六：相互作用する系としてのアカマツ群落の構造 (20-23) / 横内文人：日本北アルプスの高山植物 (2) (24-42) / 今井建樹：長野県の植物覚書 (43-46) / 齋藤信夫：青森市のスギ林に出現するシダ植物とその傾向 (47-51) / 大塚孝一：長野県のシダ植物雑記 (8) (52-55) / 早坂祥彦：松本市藤井沢のハミズゴケとシッポゴケの生態観察 (55-59) / 小山泰弘：長野県内におけるササ開花情報 (60-63) / 小澤正幸・野口達也：長野県北部のトリゲモ類 (イバラモ科) (64-66) / 清水建美 (編)：「長野県植物誌」補遺 (2) (67-69) / 横内文人：ケショウヤナギの新しい分布地 (4) 一大町市籠川一 (70) / 奥原弘人：「長野県植物誌」に対する所感 (71) / 奥原弘人：木曾のヤクシマヒメアリドオシラン (71-72) / 横内文人：ヒメフウロ、シオヤキソウ (73) / 霜田芳武：ユウシュンランとの出会い (73) / 川上美保子・渋沢美佐緒：ミドリヒメザゼンソウ (73)

## ○ 岐阜県博物館調査研究報告 第20号 1999年3月

(〒381-0075 岐阜県関市小屋名岐阜県百年公園内 岐阜県博物館)

井上好章：岐阜県博物館 (井波コレクション) のスマレ科標本目録 (37-41)

## ○ 富士竹類植物園報告 第43号 1999年8月

(〒411-0932 静岡県駿東郡長泉町南一色 885 日本竹笹の会)

沼田 真：竹林生態学雑録, XII (2-11) / 笠原基知治：実生モウソウチクの開花年限 (12-33) / 村松幹夫：タケ連植物の最近の開花の事例…とくに、オオバヤダケとナリヒラダケの30年開花周期について… (34-45) / 藤本義昭：ササ属植物の葎 (46-51) / 方 偉・張立欽・黄堅欽：雷竹 *Phyllostachys praecox* C. D. Chu et C. S. Chao の実生繁殖について (英文) (62-70) / 田中幸男：竹類の繁殖について (77-90) / 若山幸夫：モウソウチクの一斉開花と部分開花 (91-103) / 片山 久：岡山県でウサンチクを確認 (107-109) / 浜田甫：鹿児島県産竹類の新知見 (16) (126-130) / 室井 紳：バンブー・ノート (38) (175-186)

## ○ 鳳来寺山自然科学博物館館報 第28号 1998年12月

(〒441-1944 愛知県南設楽郡鳳来町門谷字森脇 6 鳳来町立鳳来寺山自然科学博物館)

高木典雄・加藤貞亨：崖崩れ防護用コンクリート壁面に発生するコケ植物 (47-54) / 加藤等次：鳳来寺山植物のうつりかわり (63-68)

## ○ 三重自然誌 第5号 1999年10月

(〒514-0006 津市広明町 147 三重県立博物館気付 三重自然誌の会)

特集 志摩半島の湿地 北村治郎・津村義博：南勢町押淵湿地の地形・地質 (1-3) / 加田勝敏・山本和彦・山脇和也：押淵湿地の植生と植物相 (5-21) / 津村みち：伊勢湾南西部周辺海藻 (101-104)

## ○ 南紀生物 第41巻 1999年6月

(〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部 522-2 南紀生物同好会)

北野一夫：オオフサモ (アリノトウグサ科) 和歌山県で初採集 (10) / 土永浩史・山本誠二：紀伊半島産の興味ある蘚苔類Ⅳ (11-14) / 北野一夫：和歌山県で採集したウンヌケモドキ (イネ科) (27-28) / 木下慶二：和歌山県の7大河川におけるヤナギ属植物の分布についてⅤ (51-54) / 酒井俊英：和歌山県に帰化したハガワリトボシガラ (イネ科) (56)

## ○ 京都植物 第24巻 第4, 5, 6号

(京都植物同好会 幹事：〒606-0026 京都市左京区岩倉長谷町 486 田中 徹)

第4号 1999年1月—村田 源・津軽俊介：京都府新産植物 7 (7-10) / 村田 源：京都府立植物園に残された竹内敬先生の標本の再検討 7 (10-12) / 西沢信一：ウラジロチチコグサとキヌゲチチコグサ (12-13) / 津軽俊介：京都府のアメリカネナシカズラおよびハマネナシカズラについて (13-14) / 田中 徹：アカメガシワの葉っぱ (15-16)

第5号 1999年3月—村田 源・津軽俊介：京都府新産植物 8 (6-10) / 村田 源：京都府立植物園に残さ

れた竹内敬先生の標本の再検討 8 (10-13) / 西沢信一: 鹿と植物 (13-14) / 津軽俊介: タラヨウと貝多羅葉 (14-16) / 田中 徹: カツラの香りとタカノツメ (18-19) / 田中 徹: 晩秋のイシミカワ (19-20)  
第6号 1999年8月—村田 源: 京都府立植物園に残された竹内敬先生の標本の再検討 9 (10-14) / 村田源・津軽俊介: 京都府新産植物 9 (14-17) / 田中 徹: イボクサの閉鎖花について (17-19) / 田中 徹: ハンノキの根粒を見る (19-20)

○ 岡山県自然保護センター研究報告 第6号 1999年3月

(〒709-0524 岡山県和気郡佐伯町田賀730 岡山県自然保護センター)

地職 恵: 岡山県におけるオオミズゴケの分布 (9-13) / 西本 孝・波田善夫: 岡山県自然保護センター湿生植物園の植生 3. 移植後7年目の植生 (15-28)

○ 倉敷市立自然史博物館研究報告 第14号 1999年3月

(〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館)

狩山俊悟・榎本 敬・小島裕子: 倉敷市児島由加山の水生植物 (1-15) / 狩山俊悟・小島裕子・榎本 敬: 岡山県新産の帰化植物 (10) (55-57)

○ 比婆科学 第191号 1999年7月

(〒727-0013 広島県庄原市西本町1丁目7-7 比婆科学教育振興会)

吉野由起夫: 広島県の維管束植物に関する文献目録 (2), 補遺と追加 (25-40) / 窪田正彦・窪田雄一: 広島市部のキバナノアマナについて (41-42) / 窪田正彦・藤井英男: 三和町(双三郡)のミツガシワの生育地 (43-44) / 窪田正彦・窪田雄一: 広島市のタンナトリカブトの群落 (44-45)

○ 山口県の自然 第59号 1999年3月

(〒753-0073 山口市春日町8-2 山口県立山口博物館)

真崎 久・真崎紅子: 山口県のシバナ (2) (9-16)

○ 佐賀自然史研究 第5号 1999年4月

(〒840-0041 佐賀市城内1-15-23 佐賀県立博物館)

岩村政浩: 佐賀県で絶滅が危惧される水生植物 (33-44) / 下山田 隆: 塩生植物の発芽特性とその地域教材化 (59-63) / 伊奈隆年・大塚百合・草野弘子・松藤加代子・林田朋久・安楽真理・茂倉匡幸: 密度効果がシチメンソウの形態に及ぼす影響: 自然群落と人工群落の比較 (65-68) / 上赤博文: 佐賀県で新たな分布が確認された植物 (2) (71-73) / 上赤博文: 佐賀の自然と生物 (75-89)

○ 鹿児島県立博物館研究報告 第18号 1999年3月

(〒892-0853 鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館)

寺田仁史: 口之島の植物相と現存植生 (43-78)

(編集部 中田政司編)